

護身術 女子大生に手ほどき

女性や子どもを狙った性犯罪を抑止しようと、西宮署は8日、護身術などを教える防犯講習会を開き、関西学院大と武庫川女子大の女子大学生ら西宮市内で通学する約15人

が参加した。講習会では、県警生活安全特別捜査隊の奥井純子警部補が、夜間外出する際はスマートフォンなどを見たり耳にイヤホンをしたまま歩かず、走

りやすい靴を履くことが大切と説明。「明るい道を選び、こまめに後ろを振り返ってほしい。犯人は注意深い人を襲うことは少ない」と呼び掛けた。その後、参加者は不審者に腕を捕まれた際の振り払い方など護身術の手ほどきを受けた。

関西学院大人間福祉学部4年の荒木玖実さん(21)は「大学周辺は夜は街灯が少なく暗い。夜道を歩くこともあるので、学んだ事を生かして安全に過ごしたい」と語った。

西宮署管内では昨年1年間に女性や子どもを狙ったわいせつ事案が約170件発生。小平宝生・生活安全1課長は「夏場は特に被害が増える。駅から後をつけられるケースも多い。講習を生かしてほしい」と話した。【山本愛】

西宮署 防犯講習会に15人



腕を捕まれた際の振り払い方を女性警察官から学ぶ女子大学生ら。西宮市の西宮警察署で